

令和4年度 第1回 秋田県立農業科学館運営協議会（議事録要旨）

日 時 : 令和4年7月22日（金） 13:30～15:20
会 場 : 秋田県立農業科学館 多目的ホール
出席者 : 委員長 頼 泰 樹 秋田県立大学准教授
委 員 佐 藤 啓 子 J A秋田おばこ女性部副部長
" 柴 田 茂 明 大仙市内小友小学校長
" 高 橋 正 美 作家
" 築 地 高 大仙市教育委員会事務局長
" 奈 良 克 久 N P O法人障がい者自立生活センター
" "ほっと大仙」理事長
" 山信田 勢津子 大曲保育会 大曲乳児園長
事務局 森 川 勝 栄 秋田県教育庁生涯学習課主任学芸主事
" 柿 崎 仁 志 農業科学館 館長
" 佐 藤 茂 総務班 副主幹（兼）班長
" 高 橋 英 学芸班 副主幹（兼）班長
" 中 村 美也子 " 学芸主事
" 照 井 梓 " 学芸主事
" 鈴 木 章 " 研修員

<次第>

1. 開会
2. 館長あいさつ
3. 運営協議会委員の紹介
4. 農業科学館職員の紹介
5. 委員長・副委員長の選出
6. 案件
 - (1) 農業科学館の事業について
 - ・令和3年度事業実績について
 - ・令和4年度各種事業について
 - (2) 協議
 - ①Withコロナ、Afterコロナでの今後の事業の進め方について
7. その他
8. 閉会

<議事概要>（○：協議会委員、■：事務局）

(1) 農業科学館の事業について

○食農体験は農業科学館以外でも実施してくれるのか。

■可能である。

○農業科学館の年間スケジュールは学校を通じて個人宅にも配布しているのか。

■個人宅には配布していない。学校にはセカンドスクールのプログラムと一緒に配布している。

○ここ数年は県外からのセカンドスクールは利用者がいなかったが、コロナ禍が落ち着いたらまた利用したいという話しはあるものか。

■令和４年度に仙台から１件利用実績がある。事業自体は残っているので期待している。

(２) 協議

○農業科学館の事業については参加者を減らしたりしながら、参加できる形で実施してもらいたい。

○保育会ではコロナ禍で事業をしていく上で基本的なことを見つめ直す機会となり、今までにない良い手法で事業を進めることができた。農業科学館でもそういった事案を生かして次の事業に進めていってほしい。

○農業科学館でWi-Fi環境も整っていると聞いている。学校でもICT環境が整っているのでリモートで展示物の紹介などを行えるようになれば子供たちの学びを更に深めることができる。

○コロナ禍に入ったら休館した博物館等でTwitterで情報発信を行う所が増えた。農業科学館でもお花の紹介などネットから発信してみてもどうか。

○コロナ禍に入り事業を見直す良い機会でないか。ダラダラ前例踏襲でやっていたことを止めるチャンスであり、新しい事を始めるチャンスでもある。
障害者・高齢者の側からするとバリアフリーの問題がある。玄関先に雨が降っても濡れない屋根付きの車椅子駐車場など検討いただきたい。

○来館者数のことも大事だが、自然環境がすばらしい施設であることがキーワードだと思っている。新聞に農業科学館の記事が取り上げられており、県南で認知度もあると思われるので、その強みを生かしていただきたい。
今年の１０月下旬から大仙市大曲を会場に１８年ぶりに秋田県種苗交換会が行われる。農業科学館も種苗交換会に乗じて何か行う予定があるか。

■大仙市協賛の参与になっているが、今のところ大仙市から連絡がない。協力依頼があれば協力したい。

○コロナ禍において、屋内展示よりも屋外でのイベントを強化した方が良いのではないか。秋田のいろいろな開発品種等を実際に手に取ってみたり、実際に触れられる、こんな風に花が咲いて、実がなるという実感できるようなものを増やしていけばいいのではないか。

○同じ大仙市といっても遠くの地区に住んでいる人は農業科学館を分らない人もいる。大仙市主催で農業科学館を会場にふるさと農業体験デーを実施する。遠方の人を呼ぶことだけでなく、市内の他地域の人にもっと農業科学館を知ってもらいたい。